

CASBEE 柏2014年版
国立研究開発法人国立がん研究センター がん予防・検診・疫学センター

■使用評価マニュアル: CASBEE 柏2014年版
 ■評価ソフト: CASBEE 柏2014(v.3.01)

欄に数値またはコメントを記入

スコアシート		実施設計段階		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	評価点	重み係数	評価点	重み係数			
Q 建築物の環境品質								3.1
Q1 室内環境			0.40					3.1
1 音環境		3.3	0.15	-	-			3.3
1.1 騒音		3.0	0.40	-	-			
1.2 遮音		3.8	0.40	-	-			
1 開口部遮音性能	T-2	5.0	0.40	-	-			
2 界壁遮音性能		3.0	0.60	-	-			
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)		3.0	-	-	-			
4 界床遮音性能(重量衝撃源)		3.0	-	-	-			
1.3 吸音		3.0	0.20	-	-			
2 温熱環境		3.0	0.35	-	-			3.0
2.1 室温制御		3.0	0.50	-	-			
1 室温		3.0	0.38	-	-			
2 外皮性能		3.0	0.25	-	-			
3 ゾーン別制御性		3.0	0.38	-	-			
2.2 湿度制御		3.0	0.20	-	-			
2.3 空調方式		3.0	0.30	-	-			
3 光・視環境		3.0	0.25	-	-			3.0
3.1 昼光利用		3.0	0.30	-	-			
1 昼光率		3.0	0.60	-	-			
2 方位別開口		-	-	3.0	-			
3 昼光利用設備		3.0	0.40	-	-			
3.2 グレア対策		4.0	0.30	-	-			
1 昼光制御	カーテン+庇	4.0	1.00	-	-			
3.3 照度		1.0	0.15	-	-			
3.4 照明制御		3.0	0.25	-	-			
4 空気質環境		3.6	0.25	-	-			3.6
4.1 発生源対策		4.0	0.50	-	-			
1 化学汚染物質	内装材は全てF☆☆☆☆を使用	4.0	1.00	-	-			
2 アスベスト対策		-	-	-	-			
4.2 換気		2.0	0.30	-	-			
1 換気量		3.0	0.50	-	-			
2 自然換気性能		3.0	-	-	-			
3 取り入れ外気への配慮		1.0	0.50	-	-			
4.3 運用管理		5.0	0.20	-	-			
1 CO ₂ の監視		3.0	-	-	-			
2 喫煙の制御	全面禁煙	5.0	1.00	-	-			
Q2 サービス性能		-	0.30	-	-			3.3
1 機能性		3.1	0.40	-	-			3.1
1.1 機能性・使いやすさ		3.0	0.40	-	-			
1 広さ・収納性		3.0	-	-	-			
2 高度情報通信設備対応		3.0	-	3.0	-			
3 バリアフリー計画		3.0	1.00	-	-			
1.2 心理性・快適性		3.0	0.30	-	-			
1 広さ感・景観		3.0	-	-	-			
2 リフレッシュスペース		3.0	-	-	-			
3 内装計画		3.0	1.00	-	-			
1.3 維持管理		3.5	0.30	-	-			
1 維持管理に配慮した設計	防汚性の高い建材を使用	4.0	0.50	-	-			
2 維持管理用機能の確保		3.0	0.50	-	-			
3 衛生管理業務		-	-	-	-			
2 耐用性・信頼性		3.4	0.30	-	-			3.4
2.1 耐震・免震		3.8	0.50	-	-			
1 耐震性	保有水平多力Qu/Qunが1.25以上確保している。	4.0	0.80	-	-			
2 免震・制振性能		3.0	0.20	-	-			
2.2 部品・部材の耐用年数		3.2	0.30	-	-			
1 躯体材料の耐用年数		3.0	0.20	-	-			
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔		2.0	0.20	-	-			
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		3.0	0.10	-	-			
4 空調換気ダクトの更新必要間隔		3.0	0.10	-	-			
5 空調・給排水配管の更新必要間隔	給水:VLP→B、給湯:SUS→C、排水:VP→B	5.0	0.20	-	-			
6 主要設備機器の更新必要間隔		3.0	0.20	-	-			

2.4 信頼性			2.8	0.20			
1	空調・換気設備		3.0	0.20			
2	給排水・衛生設備		2.0	0.20			
3	電気設備	非常用発電設備と無停電電源設備を新たに設置している。	4.0	0.20			
4	機械・配管支持方法		3.0	0.20			
5	通信・情報設備		2.0	0.20			
3 対応性・更新性			3.4	0.30			3.4
3.1 空間のゆとり			4.6	0.30			
1	階高のゆとり	最低階高4.2m	5.0	0.60			
2	空間の形状・自由さ	壁長さ比率0.144	4.0	0.40			
3.2 荷重のゆとり			3.0	0.30			
3.3 設備の更新性			3.0	0.40			
1	空調配管の更新性		3.0	0.20			
2	給排水管の更新性		3.0	0.20			
3	電気配線の更新性		3.0	0.10			
4	通信配線の更新性		3.0	0.10			
5	設備機器の更新性		3.0	0.20			
6	バックアップスペースの確保		3.0	0.20			
Q3 室外環境(敷地内)			-	0.30			2.9
1 生物環境の保全と創出			2.0	0.30			2.0
2 まちなみ・景観への配慮			4.0	0.40			4.0
3 地域性・アメニティへの配慮			2.5	0.30			2.5
3.1	地域性への配慮、快適性の向上		3.0	0.50			
3.2	敷地内温熱環境の向上		2.0	0.50			
LR 建築物の環境負荷低減性			-	-			3.1
LR1 エネルギー			-	0.40			3.5
1 建物外皮の熱負荷抑制		外皮に断熱材を使用	4.5	0.20			4.5
2 自然エネルギー利用			3.0	0.10			3.0
3 設備システムの高効率化		BEI 非住宅 0.94 住宅(専有部) 0.83	3.5	0.50			3.5
集合住宅以外の評価(3a.3b)		LED照明を採用	3.5	1.00			
集合住宅の評価(3c)							
4 効率的運用			3.0	0.20			3.0
集合住宅以外の評価			3.0	1.00			
4.1	モニタリング		3.0	0.50			
4.2	運用管理体制		3.0	0.50			
集合住宅の評価							
4.1	モニタリング		3.0	-			
4.2	運用管理体制		3.0	-			
LR2 資源・マテリアル			-	0.30			3.0
1 水資源保護			3.0	0.20			3.0
1.1 節水			3.0	0.40			
1.2 雨水利用・雑排水等の利用			3.0	0.60			
1	雨水利用システム導入の有無		-	-			
2	雑排水等利用システム導入の有無		3.0	1.00			
2 非再生性資源の使用量削減			3.0	0.60			3.0
2.1	材料使用量の削減		2.0	0.10			
2.2	既存建築躯体等の継続使用		3.0	0.20			
2.3	躯体材料におけるリサイクル材の使用	-	3.0	0.20			
2.4	躯体材料以外におけるリサイクル材の使用	再生骨材の路盤材	3.0	0.20			
2.5	持続可能な森林から産出された木材		2.0	0.10			
2.6	部材の再利用可能性向上への取組み	OAフロア	4.0	0.20			
3 汚染物質含有材料の使用回避			3.0	0.20			3.0
3.1 有害物質を含まない材料の使用			3.0	0.30			
3.2 フロン・ハロンの回避			3.0	0.70			
1	消火剤		-	-			
2	発泡剤(断熱材等)		3.0	0.50			
3	冷媒		3.0	0.50			
LR3 敷地外環境			-	0.30			2.8
1 地球温暖化への配慮		設備の高効率化を図っている	3.1	0.33			3.1
2 地域環境への配慮			2.4	0.33			2.4
2.1 大気汚染防止			3.0	0.25			
2.2 温熱環境悪化の改善			2.0	0.50			
2.3 地域インフラへの負荷抑制			2.6	0.25			
1	雨水排水負荷低減		-	-			
2	汚水処理負荷抑制		3.0	0.33			
3	交通負荷抑制		3.0	0.33			
4	廃棄物処理負荷抑制		2.0	0.33			
3 周辺環境への配慮			3.0	0.33			3.0
3.1 騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.40			
1	騒音		3.0	1.00			
2	振動		-	-			
3	悪臭		-	-			
3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制			3.0	0.40			
1	風害の抑制		3.0	0.70			
2	砂塵の抑制		3.0	-			
3	日照障害の抑制		3.0	0.30			
3.3 光害の抑制			3.0	0.20			
1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策		3.0	0.70			
2	屋光の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30			